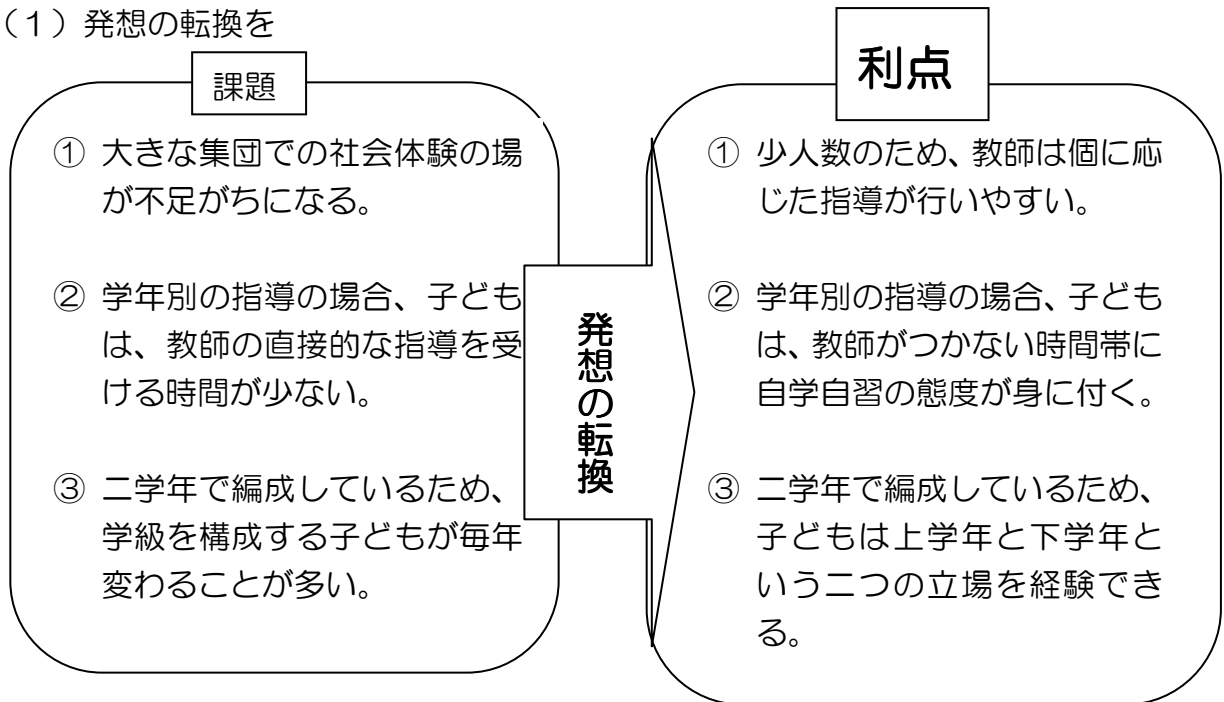


(2) 複式学級における学習指導の基本的な考え方

(1) 発想の転換を



マイナス面よりプラス面を

☆複式学級にしる、単式学級にしる、その学級の人数をその学級のプラスの特性として捉え、その人数構成が活かされる工夫を考えていくことが大切です。

(2) 複式学級の利点を生かす（具体策）

①一人一人に応じた指導の充実

- 個の学習活動を予測し、それに応じた教具やプリントなどを準備する。
- 学習の過程で、一人一人の学習状況を把握し、指導の改善を図る。

②自主学習、学び合い学習の時間の充実

- 自分たちで学習活動を進めることができるように学習環境を整える。
- 二学年の学習過程の組み合わせを柔軟に考える。
- 自主学習・学び合い学習につなげる指導の在り方を工夫する。

③上学年と下学年のかかわりを生かした学習活動の充実

- 上学年にはリーダーとしての自覚を育てる。
- 下学年には、上学年の学び方をめざして向上しようとする心を育てる。
- 学年を越えた触れ合いの場を設定するなどして、ともに助け合い認め合う態度を培う。

複式だからこそできる授業づくり

- ◎子どもたちがかかわり合って、主体的に学べる授業づくり
- ◎学び方を身に付け、解決できる力、考える力を付ける授業づくり